

公表する基礎項目

令和2年度実績 総数（正職員・契約職員・派遣職員）

令和4年3月17日作成

①採用に占める女性比率の割合

全体 80%

正職員 64% 契約職員 77%

②平均勤続年数の男女比

全体 130% 女性：13.3年 男性：10.2年

正職員 120% 女性：14.3年 男性：11.7年

契約職員 125% 女性：9.5年 男性：7.5年

③月別平均残業時間数

| | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 0.8(162) | 0.6(127) | 0.7(150) | 1.2(234) | 0.9(182) | 1.0(206) |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1.1(227) | 1.2(236) | 0.7(146) | 1.0(196) | 0.8(155) | 0.8(157) |

④管理職に占める女性の割合 50%

社会福祉法人小越会 行動計画

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を次の通り策定する

1. 計画期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日
2. 課題 男性職員の育児休業等取得の実績がない。
女性職員の割合が8割であり、子育てや介護をしながら就業している女性職員がいる。
2. 目標と取組内容
 - 目 標 女性職員の育児休業取得率 100%、男性職員の育児休業等の取得を1名以上とする。
子育てや介護等を担う女性職員のライフスタイルに合わせた働きやすい職場環境を整備する。
 - 取組内容 令和4年4月～ 利用できる支援制度とハラスメント防止、就業規則等に関する説明資料を作成し、経営運営会議等で年2回以上の説明を行い、管理職への周知を図る。
男性職員に対して、育児休業等の制度活用の啓蒙活動を行う。
 - 令和5年4月～ 男女別のフレックスタイム制等、柔軟な働き方が可能となる仕組みを作る
 - 令和6年4月～ 職員の育児休業取得率の現状を把握。男性の育児休業等の取得実績がない場合は、取得に向け、啓蒙活動を継続する。